

2018年1月18日

神戸市長 久元喜造 様

## 神戸の石炭火力発電を考える会

(構成団体)

- 神戸公害患者と家族の会
- 西淀川公害患者と家族の会
- 公益財団法人 公害地域再生センター (あおぞら財団)
- 特定非営利活動法人 地球環境市民会議 (CASA)
- 特定非営利活動法人 気候ネットワーク
- 神鋼石炭火力公害問題灘区連絡会
- 石炭火力発電所問題を考える市民ネットワーク
- ひょうご ECO クラブ
- 神鋼石炭火力発電所増設問題を考える芦屋市民の会

### 「神戸市環境モデル都市アクションプラン」等の改訂に関する 要望書及び公開質問状

私たちは、神戸市が策定した「神戸市環境モデル都市アクションプラン」等の改訂に関する要望書を、2017年10月12日付で貴職に提出し、「環境モデル都市アクションプラン」や「環境貢献都市 KOBE プロジェクト MAP」において、環境負荷の高い石炭火力発電を位置付けることは妥当ではなく、石炭火力発電を、環境モデル都市アクションプラン等から除外する改訂を行うことを要望しました。同日、環境貢献都市課において要望書を受け取っていただき、改訂することについてまず検討するという回答を同課職員からいただいたところです。

目下、既設の神戸製鋼所(以下「神鋼」という。）・神戸発電所に加え、同じく石炭を燃料とする神戸製鉄所火力発電所(仮称)の建設計画が進められています。私たちは、前掲要望書に記載したとおり、温暖化対策の観点からも、また、未だ大気環境の改善途上にある神戸南部における環境悪化を防止する観点からも、石炭火力発電所が増設されることに懸念を表明してきました。

本年1月12日には、「三隅発電所2号機建設変更計画環境影響評価準備書に対する環境大臣意見」においても、石炭火力発電所の新設に対する環境大臣の厳しい意見が公表されたところです。世界的にも、脱石炭の流れが進んでいます。このような状況の中で、環境モデル都市のアクションプランにおいて、温暖化対策、大気汚染対策の観点から最悪の燃料を用いる石炭火力発電所が位置付けられていることは、恥ずべきことといわざるをえま

せん。

以上のような背景から、私たちは、神戸市として「環境モデル都市アクションプラン」をどのように見直す方針であるのか、市民に向けて明らかにしていただく必要があると考え、本質問状を提出することとしました。2017年10月12日付で貴職に提出した要望書についての検討結果を、本年1月末までに、書面により、当会あてにご回答くださるようお願いいたします。

連絡先：

〒657-0064 神戸市灘区山田町3-1-1

神戸学生青年センター内

神戸の石炭火力発電を考える会事務局

TEL 080-2349-0490

メール [kobesekitan@gmail.com](mailto:kobesekitan@gmail.com)